令和 2 年度 広島県高等学校総合体育大会 代替大会 ヨット競技 実施要項

開催の趣旨

本大会は、中止となった第73回広島県高等学校総合体育大会の代替大会とし、学校教育の一環として、生徒に広くスポーツの機会を与え、その力と技及び明朗な精神の高揚をめざし、健康の増進と生徒相互の親睦を図ろうとするものである。

主 催 広島県高等学校体育連盟

共 催 広島県教育委員会

後 援 広島市教育委員会,(財)広島県セーリング連盟,(公財)広島県教育事業団

(公財)広島県体育協会,広島市スポーツ協会

主 管 広島県高等学校体育連盟ヨット専門部

協 賛 (公財) 久保スポーツ振興基金 (申請中)

1 期日

令和2年7月11日(土)·12日(日)

2 会場

大会会場 広島市西区観音新町 広島観音マリーナ Tm 082-296-7725 レース海面 商工センター沖海面

3 適用規則

国際セーリング規則 各クラス規則 大会実施要項および帆走指示書

4 レース日程

7月10日(金) 大会準備・運営艇安全装備チェック

7月11日(土) 9時00分 開会式, スキッパーズミーティング

10時25分 初日最初のクラスの予告信号

引き続きレースを実施する。

7月12日(日) 9時55分 スキッパーズミーティング

引き続きレースを実施する。

※ 7月12日(日)の予告信号は16時01分以降には発しない。

5 レース回数

可能な限り実施するが二日間で最大7レースとする。

6 競技方法

トラペゾイドコース (詳細は後日配布する帆走指示書に規定する)

各艇種は1艇5名以内の選手登録とする。1レース目は出走申告書への艇長のサインにより、引き続き海上でレースが続行される場合での乗員の変更は、各レース前に本部船に申し出ること。この場合帰着申告時に書面にて提出のこと。違反の場合はPTPとして3点を加算される。

7 大会成立

1レース以上のレースをもって成立する。

8 得点方法

RRS 付則 A の低得点法を採用し、5 レース以上成立した場合は最も悪かったレースの得点を除外した合計得点で順位を決定する。4 レース以下しか成立しなかった場合は、全てのレース得点の合計で順位を決定する。

9 帆走指示書

遅くとも開会式までに配布する。

10 競技艇のクラス

420級男子,420級女子,レーザーラジアル級男子,レーザーラジアル級女子,

11 賞及び権利

各クラス競技1位を表彰する。

12 参加資格

- (1) 所定の期日までに申し込み手続きを済ませた者。
- (2) 選手は、広島県高等学校体育連盟規約第5に規定する学校に所属する生徒で、本競技実施要項により大会参加資格を得たものに限る。
- (3) 平成13(2001)年4月2日以降に生まれたものとする。但し出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は一回限りとする。
- (4) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。
- (6) 転校・転籍後6ヶ月未満のものは、参加を認めない(留学生もこれに準じる)。但し一家転住などやむを得ない場合は、県高体連会長の許可があればこの限りではない。
- (7) 出場する選手は、健康上問題がなく保護者が同意し、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- (8) その他各競技専門部での申し合わせによる必要な事項を記入する。
- (9) 参加資格の特例による参加については、広島県高等学校総合体育大会開催基準要項の通りとする。

13 参加方法

参加申込書に必要事項を記入して令和2年7月8日(水)までに専門部宛に提出すること。

14 参加上の注意

- (1) 出場選手の大会期間中の健康管理及び生徒指導については各学校長の責任において遺漏のないよう処置すること。特に、健康管理、食生活及び交通安全等の指導については、十分留意すること。
- (2) 選手は大会2週間前から体調記録表に記録し、当日持参する。
- (3) 選手は大会2週間前からの行動履歴書を記入しておく。
- (4) 各自,原則として「健康保険証」を持参すること。
- (5) 競技場においては会場責任者の指示に従うとともに、競技場を常に清浄に保ち、会場を汚さないこと。
- (6) 本大会は新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに沿って開催する。

15 艇及びセール

参加申し込み後のセールナンバーの変更は、当該レース中の破損を除き受け付けない。破損等によりやむを得ず同一セールナンバーが生じた場合には、レース委員会の指示に従ってセールナンバーの修正(識別表示)を行うことができる。

16 その他

ー・二年生の参加についてはマストトップへの有効な浮力体(ソフトバレーボール程度以上の大きさで容易に破損しないもの)の装着を義務付ける。また出場選手全員にホイッスルの携行を義務付ける。受付後または7月 11 日(土)出艇前にレース委員会により浮力体・バウライン・トラピーズ・ホイッスル等安全に関わる艤装のチェックを行う。不備を指摘された艇は、改修後再チェックを受けて合格しない限り出艇を認めない。

問い合わせ先 〒730-0042

広島県立広島国泰寺高等学校 082-241-1537 / 090-4646-5543 坂本 亘